



みはらふくし情報

9月号

令和5(2023)年
9月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

「食事」で子育て世帯を応援したい！ ～子ども食堂「わんぱく食堂さつき」～

三原地域センター



会場の三原駅前のサン・シープラザ調理室で調理する支援者のみなさん。この日のメニューはカレーライス。食後は、野菜のクイズ大会(写真右下)で、参加者と交流を深めました。

みなさんは「こども食堂」をご存知ですか。無料または安価で子どもの食事や居場所を提供する福祉活動です。地域との関わりが希薄する昨今では、単に貧困や孤食対策だけでなく、地域の住民同士が交流できる場としての期待も高まっています。現在、三原市内には7つの運営団体があり、地域のボランティアなどが中心となり、月1回程度の頻度で活動しています。社協では、子ども食堂に関する問い合わせや相談に対応しています。

今回は、8月19日に活動がスタートした「わんぱく食堂さつき」を訪問しました。初回にも関わらず、多くの子育て世帯が参加され、会場はにぎやかな雰囲気でした。参加した子どもたちは、「ご飯が美味しかった。参加した子と仲良くなって一緒に遊んで楽しかった。」と喜んでいました。

代表の高田美穂さんは、「初めての活動で不安はあったけど、多くの人に喜んでもらえて良かったです。三原市でも1人で食事をする子どもや、親の手料理を食べられない子どもが増えていると聞きます。自分たちのように活動に思いを持つ人が、三原のいろんな地域に増えてほしいと思います。活動したい人がいれば、運営のノウハウと一緒に学べるように、積極的に受け入れながら、お互いに協力し合っていけたらと思っています。」と活動への思いを話しました。

地域に必要な取り組みを考える「見守り連絡会議」

～下津地区見守り活動 認知症学習会～

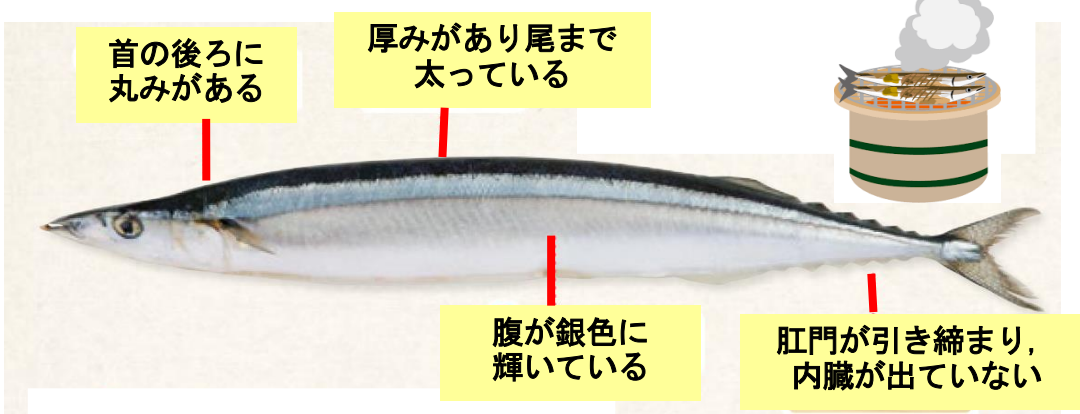
久井地域センター



↑「認知症の人も安心して暮らすためには、地域とのつながりが大切」と話す高齢者相談センターは一もに一の貸谷さん

久井町の下津地区で取り組む「見守り活動」は、見守りサポーターと呼ばれる地域のボランティアが一人暮らし高齢者などを日常的に気にかける小地域福祉活動です。また、活動の振り返りを行う「見守り連絡会議」を定期的に開催し、心配な世帯の様子や関わり方について話し合っています。

下津地区では、認知症の人との関わりに対する不安を解消するべく、8月8日に「認知症学習会」を開催し、声掛け方法や認知症の相談先について学びました。下津地区の内藤久雄区長は、「前回の会議で、認知症の人への対応に不安の声が上がった際、この問題にみんなで向き合えたのが良かった。」と学習会のきっかけを振り返ります。学習会後の会議では、見守りサポーターから、「見守りだけでなく、サロンの関わりの中でもちょっとした変化に気づくことができる。」とサロン活動の大切さを意識した発言が出るなど、いつも以上に活発な意見交換となりました。



役立ち
情報

秋の旬をいただく！
おいしい秋刀魚の見分け方

参考：農林水産省 「特集1 魚を食べよう(2)～定番の魚5種類の目利き おいしい魚の選び方～」より https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1709/spe1_02.html

まだまだ暑い日が続きますが、暦の上では秋になりました。秋の魚として代表的な「秋刀魚」の旬は、9月中旬から10月中旬の1ヶ月間で、体も大きく脂の乗りが一番いいそうですよ。

今回は、美味しい「秋刀魚」の見分け方を紹介しますので、ぜひ参考にしてみてください♪